

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年6月2日～2016年6月8日)

平成 28 年(2016 年)6 月 10 日

H E A D L I N E S

## 政治

市民団体・憲法擁護委員会(KOD)による大規模デモ  
 モゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表の訪問  
 国防大学内への安全保障研究センターの設置  
 バルトトップス演習開始  
 ヴァシチコフスキ外相の中東和平プロセス連絡会議出席  
 ポーランド・ドイツの地域・国境協力  
 ヴロネツカ外務次官の地中海連合会議出席  
 下院外交委員会によるハンガリー訪問  
 ドゥダ大統領のイタリア及びバチカン訪問  
 アナコンダ演習の訓練開始式  
 ヴァシチコフスキ外相のブルガリア外相との会談  
 国家安全保障会議  
 ヴァシチコフスキ外相のアルバニア訪問  
 シドウウォ首相のV4首相会合出席

## 経済

国有財産省廃止は年末  
 新紙幣の発行  
 個人の社会保障費, 所得税の徴収一元化  
 5月の倒産件数は減少  
 LOTが大型機を東欧路線に導入  
 5月の新車登録台数は増加。ただし個人の登録は減少傾向  
 5月の自動車生産は減少  
 開発相, 電気自動車の普及が経済を牽引すると発言

## 大使館からのお知らせ

在外選挙に関するお知らせ  
 イスラム過激派組織によるラマダン期間中のテロを呼びかける声明の発出に伴う注意喚起  
 パスポートダウンロード申請書のご案内  
 海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ  
 大使館広報文化センター開館時間  
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館  
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696  
 5000<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

## 政 治

## 内政

市民団体・民主主義擁護委員会(KOD)による大規模デモ【4日】

4日、市民団体・民主主義擁護委員会(KOD)は、1989年の同日に行われた部分的自由選挙を記念

して「自由のための我ら」と題する大規模デモを実施した。同デモには、コモロフスキ前大統領及びクファシニエフスキ前大統領も参加し、約5万人が参加した(ワルシャワ市発表、警察発表では約1万人)。

## 外交・安全保障

モグリーニEU外務・安全保障政策上級代表の訪問【2日】

2日、モグリーニEU外務・安全保障政策上級代表がポーランドを訪問し、ドゥダ大統領、シドゥウォ首相及びヴァシチコフスキ外相と会談し、NATOワルシャワ首脳会合、EUグローバル戦略、欧州の課題、東方パートナーシップの将来について意見交換を行った。

EU28カ国及び15の北アフリカの国々が参加している。今回の会合では、地域協力及びその計画について協議され、ヴロネツカ外務次官は、地域統合への支援を表明した。

国防大学内への安全保障研究センターの設置【2日】

1日、国防大学において、ヴォイチェフ・ファウコスキ国防次官、国防大学校長等が参加し、安全保障研究センター(AON)の発足式を行った。

下院外交委員会によるハンガリー訪問【3日】

4日、スヘティナ下院外交委員長を始めとした同委員会メンバーは、ハンガリーを訪問し、オルバーン・ハンガリー首相及びシーヤールト外務貿易相と面会を行い、欧州情勢、エネルギー安全保障及び二国間協力等について意見交換がされた。

同センターは、ポーランド軍等のニーズを達成するための専門分析機関で、文明課題研究センター、アジア研究センター及び旧ソ連支配研究センターの3部門から構成される。

ドゥダ大統領のイタリア及びバチカン訪問【5日】

3～5日、ドゥダ大統領夫妻はイタリア及びバチカンを訪問し、イタリアで活躍していたポーランド人彫刻家及び作家に対し敬意を表した。またバチカンでは、ローマ法王に謁見した後、ミサに出席した。

バルトトップス演習開始【3日】

3日、NATO計画の第44回バルトトップス演習が開始した。バルト海地域の平和、安全保障と安定を目的として、17カ国から約6000名、40隻以上の艦船が参加し、17日まで行われる予定である。

アナコンダ演習の訓練開始式【6日】

6日、アナコンダ演習の訓練開始式は、国防大学で実施され、マチェレヴィチ国防大臣、ゴツウ参謀総長、ミリー米陸軍参謀総長、訓練統裁官のトマシェツキ統合作戦司令官、ホッジ米欧州陸軍司令官、演習参加各国部隊等が参加した。

ヴァシチコフスキ外相の中東和平プロセス連絡会議出席【3日】

2～3日、ヴァシチコフスキ外相はパリで開催された中東和平プロセス連絡会議に出席した。その際、フランス、中国、オランダ、チェコ、セネガルの外務大臣と個別の会談を行った。

マチェレヴィチ国防大臣は、演習参加各国兵士の威容を称えるとともに、演習の目的は、東方境界の同盟国の領土を防衛するため、NATO軍の能力を確認することであり、同盟は、ポーランド及びNATO東方境界の困難な状況において防衛上の基礎であると強調した。

ポーランド・ドイツの地域・国境協力【3日】

3日、ポツダムにてポーランド・ドイツ地域・国境協力政府間委員会が開催され、鉄道網の改善や安全保障、緊急サービスの可能性、ドイツの学校におけるポーランド語教育等について議論された。

また、ホッジ米欧州陸軍司令官は、米陸軍から州兵を含め、非常に多くの兵士が本演習に参加しており、換言すれば、全ての米陸軍がアナコンダ演習に関わっていると言える述べた。

ヴロネツカ外務次官の地中海連合会合出席【3日】

2日、ヴロネツカ外務次官はアンマンで開催された地中海連合会合に出席した。同連合は2008年に当時のサルコジ仏大統領の声かけによって結成され、

ヴァシチコフスキ外相のブルガリア外相との会談【7日】

7日、ヴァシチコフスキ外相は、ワルシャワ訪問中のミフ・ブルガリア外相と会談を行い、欧州情勢、NATOワルシャワ首脳会合等について意見交換を行った。

**国家安全保障会議【8日】**

7日、国家安全保障会議が実施され、ドゥダ大統領、シドゥウォ首相、上下両院議長、外務・防衛・内務大臣、各政党の党首が参加した。

大統領は、NATOによる東方境界の強化と同盟軍のポーランド国内駐屯の必要性に合意したとともに、NATOサミット及び世界ユースデイに向けた警備体制強化についても議論されたと述べた。

**ヴァシチコフスキ外相のアルバニア訪問【9日】**

8日、ヴァシチコフスキ外相は、アルバニアの首都

ティラナを訪問し、ラマ・アルバニア首相及びブシャティ・アルバニア外相と会談し、二国間関係、安全保障課題について意見交換を行った。ヴァシチコフスキ外相は、アルバニアのEU加盟を支援するとともに、司法制度含めた改革の必要性を強調した。

**シドゥウォ首相のV4首相会合出席【9日】**

8日、シドゥウォ首相は、プラハで開催されたV4の首相級会合に出席し、7月に開催予定のEU首脳会合を前に、V4の共通の政策について意見交換した。ポーランドは今7月よりV4議長国となる。

**経 済**

**経済政策**

**国有財産省廃止は年末【2日】**

ヤツキエヴィチ国有財産大臣は、(与党「法と正義」の公約だった)国有財産省廃止は今年末までに行われる予定であり、後継組織が年末から年始にかけて設立される予定とテレビ番組で発言した。首相から要請があれば自分が新組織の長となる用意はあると述べている。

チ札を発行する予定と発表した。経済成長と上向きな労働市場、低金利を反映して現金の需要が増えるの見込みでの措置とベルカ総裁は発言した。

**個人の社会保障費、所得税の徴収一元化【8日】**

コヴァルチク無任所大臣(閣僚評議会常設委員長)は、2018年には社会保険(ZUS)、健康保険(NFZ)、所得税(PIT)を徴収一律化したいと発言。今年後半から法案作成の作業を始めるとのこと。

**新紙幣の発行【6日】**

中央銀行(NBP)は、2017年2月から500ズロ

**マクロ経済動向・統計**

**5月の倒産件数は減少【3日】**

Euler Hermes社によれば、5月の倒産件数は63件で昨年5月の79件から減少。年初からの倒産件

数は合計で302件。季節的要因により輸送・製造部門で倒産件数が減少、建設業で増加した。

**ポーランド産業動向**

**LOTが大型機を東欧路線に導入【3日】**

ポーランド航空(LOT)のミルチャルスキCEOによれば、格安航空会社等と欧東路線での差別化を図るため、今後機内通路が1本の狭機型旅客機に代わり通路が2本の広機型旅客機を導入すると発言。

18台となり、前年同月比20.75%の増加、前月比では4.8%の減少となった。今回の伸びには法人による登録が大きく寄与し、他方で個人による登録は毎月減少しているという。

**5月の新車登録台数は増加。ただし個人の登録は減少傾向【6日】**

自動車産業専門調査会社 Samarによると、2016年5月の新車(乗用車・商用車)登録台数は、37,9

**5月の自動車生産は減少【8日】**

自動車産業専門調査会社 Samarによると、5月の自動車生産は前年同月比1.09%減、前月比では10.36%減の55,563台であった。

**エネルギー・環境**

**開発相、電気自動車の普及が経済を牽引すると発言【7日】**

モラヴィエツキ副首相兼経済開発大臣は、講演の

中で電動化(electric mobility)が経済活性化に必要な技術であることを強調した。同副首相は、e-Bus計画により国内の11,000台のバスを電気バスへと

転換することや、電気自動車の導入拡大を含むより広範な電動化を目指すことを紹介し、産学官の協力の必要性が成功への条件であると述べた。電気自動車の普及については、近く政府計画がまとめられ

る予定という。また、同じ場に参加したトフジェフスキ・エネルギー大臣は、電気自動車を今後10年間で100万台する可能性がある」と述べた。

## 大使館からのお知らせ

### 在外選挙のお知らせ

6月23日から7月2日まで、当館にて第24回参議院通常選挙に伴う在外投票が行われます。詳しくは当館のホームページを御覧下さい。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

### イスラム過激派組織によるラマダン期間中のテロを呼びかける声明の発出に伴う注意喚起

1. 5月21日、イスラム過激派組織 ISIL は、ラマダン期間中のテロを広く呼びかける声明をインターネット上に公開しました。同声明では、特に欧米諸国におけるテロの実行を呼びかけており、民間人を対象としたいわゆる一匹狼(ローンウルフ)型のテロの発生も懸念されます。本年については、6月6日頃から7月5日頃までが、ラマダン月(イスラム教徒が同月に当たる約1か月の間、日の出から日没まで断食する)に当たります。また、ラマダン終了後には、イードと呼ばれるラマダン明けの祭りが行われます。

2. ISIL は、昨2015年のラマダン月(6月18日頃～7月17日頃)においても、同様の声明を発出しています。同声明との関係は明らかではありませんが、昨年のラマダン期間中には、チュニジア沿岸部スースのリゾートホテル及び隣接するビーチが武装集団に襲撃され、外国人観光客38人が殺害されるテロ事件(6月26日)のほか、以下のテロ事件が発生しています。犯行主体は、ISIL 関連組織に限られませんので、様々なイスラム過激派によるテロに警戒が必要です。

- ・フランス: 東部リヨンにおけるテロ事件(6月26日)
- ・クウェート: シア派モスクにおける自爆テロ事件(6月26日)
- ・エジプト: カイロ郊外における検事総長殺害テロ事件(6月29日)
- ・マリ: 北部における国連車列襲撃テロ事件(7月2日)
- ・ナイジェリア: 北部及び中部での連続爆弾テロ事件(7月5日～7日)
- ・エジプト: カイロ市内のイタリア総領事館前での爆弾テロ事件(7月11日)

なお、上記事件のうち、複数の国で大規模なテロが発生した6月26日は金曜日に当たります。イスラム教では、金曜日が集団礼拝の日であり、その際、モスク等宗教施設やデモ等を狙ったテロや襲撃が行われることもあります。なお、本年のラマダン月については、6月10日、17日、24日、7月1日が金曜日に当たります。

3. ついては、特にラマダン(特に金曜日)及びイード期間中やその前後に海外に渡航・滞在される方は、従来以上に安全に注意する必要があることを認識し、外務省が発出する海外安全情報及び報道等により、最新の治安情勢等、渡航・滞在先について最新の関連情報の入手に努めるとともに、改めて危機管理意識を持つよう努めてください。テロ、誘拐等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、特にテロの標的となりやすい場所(モスク等宗教関連施設、政府・軍・警察関係施設、欧米関連施設、公共交通機関、観光施設、デパートや市場等不特定多数が集まる場所等)を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。

4. なお、本年のラマダン期間中(6月6日頃から7月5日頃)には、仏において、サッカーの欧州選手権(6月10日～、同日はラマダン月最初の金曜日)、自転車のツール・ド・フランス(7月4日～)が予定されています。そのような世界的に注目を集めるイベントについても、テロの標的となる可能性があります。

仏でのイベントに関する注意喚起については、以下も参照してください。

- ・「フランス: サッカー欧州選手権等イベント開催に伴うテロの脅威に関する注意喚起」

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?infocode=2016C152>

5. 海外渡航前には万が一に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。



さらに、渡航・滞在先の国・地域において緊急事態が発生した場合、メールアドレス等を登録されている場合には、外務省から随時一斉メール等により最新の情勢と注意事項をお伝えしています。

3か月以上滞在する方は、必ず在留届を提出してください。

(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html> )

3か月未満の旅行や出張などの際には、「たびレジ」に登録してください。

(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/#> )

本件詳細については、以下のリンク先をご参照下さい。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pwideareaspecificinfo.asp?infocode=2016C153>

### **パスポートダウンロード申請書のご案内**

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3\\_001509.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html)

### **海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ**

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願い」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

### **大使館広報文化センター開館時間**

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584- 73 00 , E メール：

[info-cul@wr.mofa.go.jp](mailto:info-cul@wr.mofa.go.jp)、住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

## 文化行事・大使館関連行事

### **【予定】文豪 谷崎潤一郎 生誕130周年記念シンポジウム【6月9日(木)～10日(金)】**

トルン市にて、ニコラウス・コペルニクス大学日本学科・ポーランド日本研究協会共催による『文豪 谷崎潤一郎 生誕130周年記念シンポジウム』が開催されます。谷崎潤一郎の作品に関する講演が予定されています。

開催場所：クヤヴィ＝ポモージェ県、トルン市、Collegium Humanisticum, ul. Władysława Bojarskiego 1

詳細：<http://www.home.umk.pl/~pjkj.umk/tanizaki.torun2016main.html>

### **【予定】ポーランドジュニア・青年・子供剣道選手権大会【6月11日(土)】**

ビドゴシチ市にて、ビドゴシチ剣道・居合道・杖道協会主催による『第17回ポーランドジュニア剣道選手権・第12回ポーランド青年剣道選手権・第2回ポーランド子供剣道選手権』が開催されます。

開催場所：クヤヴィ＝ポモージェ県、ビドゴシチ市、ul. Garbary 2

詳細：<http://www.kendo.bydgoszcz.pl/>

### **【予定】第4回ポーランド空手選手権大会「TATARIA CUP」【6月11日(土)】**

ノバ・サジナ市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『第4回ポーランド空手選手権大会「TATARIA CUP」』が開催されます。

開催場所：ポトカルパチェ県、ノバ・サジナ市、ul. Konopnickiej 2

詳細：<http://www.karate.lezajsk.pl/>

### **【予定】シヨパン協会賞受賞者記念コンサート【6月11日(土)13時～】**

ワルシャワ市にて、日本で開催された「ヨーロッパ国際ピアノコンクール」優秀奏者による演奏会「シヨパン協会賞受賞者記念コンサート」が開催されます。

開催場所：バプテスト第一会館，マゾフシェ県，ワルシャワ市，ul. Waliców 25

**【予定】地唄舞・ポーランド民族楽器とのコラボレーション公演【6月16日(木)～7月1日(金)】**

ポーランド7都市：ブロツワフ，タルノフスキエグリュ，クラクフ，ワルシャワ，グダンスク，コビルニツァ，ズウプスクにて，一般社団法人地唄舞普及協会主催による『地唄舞・ポーランド民族楽器とのコラボレーション公演』が開催されます。

詳細：<http://tokijyo.com/view/event.html>

**【予定】日本文化との出会い【6月18日(土) 11時～】**

ウッチ市にて，愛基金(フンダツィア・愛)主催による『日本文化との出会い』が開催されます。日本知識コンクール及びアニメ上映会の他，水谷監督(ウッチ映画大学4年生)による「ねずみの嫁入り」に基づく演劇「恋探し」が予定されています。

開催場所：ウッチ県，ウッチ市，ul. Tuwima 34

詳細：<http://ja.fundacja-ai.pl/>

**【予定】国際ポーランドカップ柔道選手権大会 ソラニンカップ 2016【6月18日(土)～19日(日)】**

ノヴァ・スル市にて，ノヴァ・スル市学生スポーツクラブ「オリンピ」主催による『国際ポーランドカップ柔道選手権大会 ソラニンカップ 2016』が開催されます。

開催場所：ルブスキエ県，ノヴァ・スル市，ul. Botaniczna

詳細：<https://www.facebook.com/events/174350719608668/>

**【予定】作法の権威【6月19日(日)～25日(土)】**

梅見基金主催による小笠原流次期宗家小笠原清基氏による礼法についての講演が開催されます。

日程：

6月19～20日 プレゼンテーション(弓道，茶道)，クラクフ

6月21～22日 講演・デモンストレーション「日常生活における礼法の役割・意味」，ヴロツワフ

6月23～25日 プレゼンテーション「日本における礼法の歴史と現在」ワルシャワ大学，「日常生活及び武道における礼法」ミシャドウオ市文化・スポーツセンター，「日本人とのコミュニケーションに役立つ礼法」，ワルシャワ市スウジェフ文化センター

詳細：[http://umemi.pl/?page\\_id=454](http://umemi.pl/?page_id=454)

**【開催中】日本人形展【3月20日(日)～6月26日(日)】**

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて，日本人形展が開催中です。

開催場所：マウオポルスカ県，クラクフ市，日本美術技術博物館，ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl/>

**【予定】ポトカルパチェ県日本文化フェスティバル「ロータス」【7月2日(土)～3日(日)】**

ジェシュフ市にて，KRIS 協会主催による『ポトカルパツキェ県日本文化フェスティバル「ロータス」』が開催されます。日本文化・歴史・ポップカルチャーについて講演・ワークショップ(武道，着物，日本刀，漫画，アニメ，J-ROCK，コスプレー等)が予定されています。

開催場所：ポトカルパツキェ県，ジェシュフ市，ul. 3 Maja 15

詳細：<http://festiwallotus.cba.pl/>

この資料は，ポーランドの政治・社会情勢を中心に，各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので，記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく，特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では，読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため，皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント，困ったことなど，皆様に伝えたいと思われる情報があれば，下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など，内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。  
[在ポーランド日本国大使館 newsmai@wr.mofa.go.jp](mailto:newsmai@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)